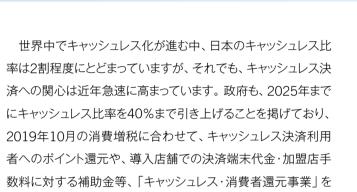
Have a good Cashless.

いいキャッシュレスが、いい毎日を作る。



日本のキャッシュレス決済市場は、従来のクレジットカードや デビットカード、電子マネーに、モバイルペイメントやQRコードと いった新しい決済手段も加わり、多様化・複雑化を伴いながら成 長しています。こうした日本の決済市場において、キャッシュレ ス決済をさらに加速させていくためには、単に新たな支払手段 を作るのではなく、事業者と利用者の双方のニーズに、柔軟か つスピーディーに応えることができる、オープンな決済プラット フォームを整備することが最適な戦略だと、私たちは考えてい

SMBCグループには、三井住友カード・セディナという、日本 のキャッシュレス決済市場を長きにわたって牽引してきたクレジッ トカード会社がありますが、2019年4月より、この2社を実質的 にひとつの事業体とすることで、SMBCグループのキャッシュレ ス決済戦略の中核を担う事業体制を確立しました。三井住友 カード・セディナのノウハウと、三井住友銀行の顧客基盤、そし て事業提携先やパートナー企業の総合力を結集し、これまで以 上に効率性の高い、スピード感のある戦略によって、日本の キャッシュレス化を牽引していきます。

Have a good Cashless.

日本のキャッシュレス比率が低いのは、治安が良く現金 を持ち歩くことに危険を感じることが少ないこと、ATMの 利便性が高く、現金の入手が容易であること等が要因にあ ります。一方で、キャッシュレス化が進むことには、決済処 理の省力化や流動性の向上、支払データの利活用による 消費の活性化といった、様々なメリットもあります。

日本における『キャッシュレス』とは、利便性や合理性だ けでは語れない「安心を持ち歩く」こと、そしてそこから生 まれる「心のゆとりや自由を持ち歩く」ことであると私たち は考えます。

誰もが身軽に過ごせる毎日を手に入れること。心も自由 な、軽やかな毎日を過ごせるようになること。

三井住友カードでは、「Have a good Cashless.」とい うメッセージにその想いを込めて発信していきます。

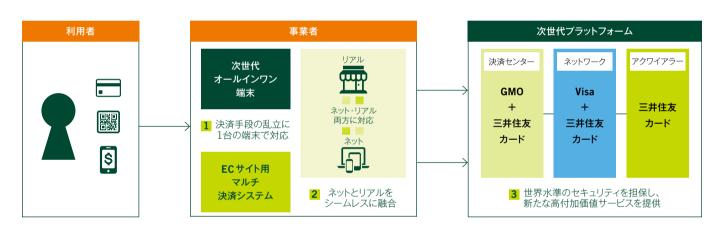
予定しています。

次世代決済プラットフォームの構築

2019年2月、従来進めてきた三井住友カードとGMOペイメントゲートウェイ社との提携協議に、世界最大規模のペイメントネットワークを有するVisa社が新たに参画し、3社の持つ強みを結集することで、より強力な次世代決済プラットフォーム事業を構築することに合意しました。

①日本固有の状況ともいえる多くの決済手段の乱立に1台の端末で対応する、②ネットとリアルをシームレスに融合する、③世界水準のセキュリティを担保し、新たな高付加価値サービスを提供する、これらの要件を満たす決済プラットフォームを構築し、2019年度中のサービス開始を目指しています。

また、最近では、決済データの活用を目的として、異業種のプレイヤーが独自のペイメントサービスを導入する動きも活発化していますが、私たちも、決済に伴うデータをいかに活用するかが、キャッシュレス決済戦略の鍵となると考えています。SMBCグループは、30兆円の決済取扱高を誇る、わが国有数のキャッシュレス決済基盤を有しています。この基盤を存分に活かし、次世代決済プラットフォームをより多くの事業者・利用者にご利用いただくことで、決済データの付加価値を向上させるとともに、競争力のあるサービスや事業者のマーケティングサポート機能を開発・拡充していきます。



事業者へのソリューション強化

中小事業者・個人事業主向けのスマートフォンを利用したカード決済サービス「Square」の推進により、2019年10月よりスタートする政府の「キャッシュレス・消費者還元事業」も見据え、加盟店の裾野拡大を加速していきます。Squareについては、三井住友銀行の全支店で

の取扱も開始しています。



Square社との合同記者会見

利用者へのサービス強化

「便利」「安心・安全」「お得」を3本の柱として、新しいキャッシュレス決済エクスペリエンスを実現します。 2018年度は、三井住友銀行・三井住友カードのモバイルアプリをリニューアルし、デビットカードの支払限度額の設定や他行口座を含む資産管理機能等を追加しました。

リニューアルした モバイルアプリ

